

広 報 広 聴 委 員 会 会 議 録

招 集

令和元年5月22日（水） 午前10時 議会委員会室

出席委員（8名）

（委員長）伊 藤 ひろえ （副委員長）稲 田 清
今 城 雅 子 岩 崎 康 朗 奥 岩 浩 基 又 野 史 朗
矢田貝 香 織 矢 倉 強

欠席委員（0名）

出席した事務局職員

先灘局長 佐藤主任

協議事件

- ・議会報告会について
- ・その他

~~~~~

### 午前9時58分 開会

○伊藤委員長 それでは、ただいまより広報広聴委員会を開会いたします。

本日は、協議事件として、議会報告会の報告についてというところで、皆さんに御協議  
いただきたいと思います。

資料も事前にお配りしておりますが、事務局のほうより御説明のほうをお願いしたいと  
思います。

佐藤主任。

○佐藤議会事務局主任 では、お配りしております資料、事前に皆様にはメールで送信し  
たり机の上に配らせていただいたりしてしますので、細かくまでは説明は省いてもよろしい  
でしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○佐藤議会事務局主任 では、説明をさせていただきます。まず、1つ目の資料なんです  
けれども、平成31年議会報告会の実施結果概要というやつ、これはいつ開催して、どこ  
でやって、出席された議員さんはこのとおりということを簡単にざくっと載せております。

その次のカラーのものなんですけれども、棒グラフがついたもの、これはアンケートの  
集計結果、ちょっと見える化して棒グラフをつけているというところでございます。

その中身一つ一つまではちょっと説明は省略させていただきまして、そのアンケートの  
一番最後、問6、その他、本日の感想や議会に対する御意見、御提言をお書きくださいと  
いうのは、とりあえず一まとめに裏表印刷でさせていただきました。項目ごとにちょっと  
分けさせていただきました。

それと、その次につけておりますのが、質疑応答の一覧でございます。各会場で参加者  
の方から出た質疑をざくっと要約をいたしまして、回答もちょっとざくっと要約をしたん  
ですけれども、その項目をちょっとつけさせてもらって、こういった質問が出て、こう

いった回答をしたという一覧表をおつけしております。

その後につけておりますのが、各班から出た報告書でございます。各班それぞれ出た意見等、取りまとめをされて、班長さんか副班長さんが多分主になってまとめられたんじゃないかなと思うんですけれども、各班の報告書でございます。

その報告書、4班分をちょっとめくっていただきますと、一番最後に伊藤委員長様という、これが高専の先生から委員長様宛てに送られてきたものなんですけれども、この議会報告会に参加された学生さんが授業の中でちょっと感想文みたいなものを、レポートを書かれたということで、率直な御意見が出てますけど、それをちょっと参考にとということで送付していただきましたので、皆様に配付をさせていただいております。

本日、この内容について確認していただきましたら、アンケート結果ですとか意見の一覧表などはホームページのほうでも早速、今月中には公開をさせていただこうかなと思いますので、よろしく願いいたします。簡単ですけど、以上です。

**○伊藤委員長** ありがとうございます。ただいま事務局より説明いただきました。皆様には事前にお配りしておりましたので、見ていただいていると思いますので、その御意見をいただいて、次の6月からの広報広聴委員会に移りたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と声あり〕

**○伊藤委員長** それでは、御意見等ございましたらお願いしたいと思います。

稲田委員。

**○稲田委員** これの資料3、事務局作成のカラーの棒グラフが載ってる資料、アンケート結果というもので、最初の1ページ目の問2の年齢についてなんですけれども、20代、30代、40代の方の参加がゼロ、ゼロ、ゼロであったと。これが議会報告会、もしかしたら議会そのものかもしれないませんが、この世代の関心が低いとか、数字でいうとゼロなので、低いどころか、全くないとは決して言いませんけれども、こうやって来て聞いていただくという機会、場所もあったかもしれないませんが、時間帯は平日の夜2回と土日で分けて、広報手段としては脆弱だったかもしれないませんが、市報、議会だより、ホームページ、地区回覧ということで、魅力がなかったかもしれないませんが、伝わる手段を使わせてもらってこういう結果だったので、これが感想になります。

意見としては、以前から言っておりますが、これまでは広く議会で行われたことを全般に、来る人は行ってみたいという構図ではなくて、テーマを決めて出かけていく。それから、相手先も、年齢なり、あるいは職種なりが絞られて、より意見交換ができるんじゃないかと。もう一步踏み込めば、これは私の本当に個人的な意見ですけども、常任委員会単位で何かテーマを決めて、特に今回は20代、30代、40代の方の、50代も少ないですけども、というようなテーマをこちらから提案して、意見交換するような機会を提案したいというのがございました。以上です。

**○伊藤委員長** できれば常任委員会というようなことや、テーマごとに絞って出かけていくというのは、団体に、テーマを絞って出かけていくということ。これちょっと説明いただきたいと思います。

稲田委員。

**○稲田委員** 済みません、もう少しちょっと、議会報告会なので、今回もやった全体的な話も必要であれば、それをどこかちょっと、いわゆる箱の大きい、会場の広いところで全

体会をして、分科会という名前かわかりませんが、それが委員会単位になっていけば、総合的な補完はできるかな。ですから、出かけていくというのは、済みません、ちょっと言葉が足りませんでした、そこに集まっていたとということです。以上です。

○伊藤委員長 承知いたしました。コンベンションだとか、そういうような。

○稲田委員 はい。

○伊藤委員長 はい、わかりました。ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

又野委員。

○又野委員 ほぼ稲田委員と一緒になんですけれども、今回のアンケートとか感想とかの中でも、これでよかったという意見もあれば、もっとこうしてほしいという意見がありますので、同じようなスタイル、やっぱり議会全体について説明とか報告するっていうのも、やはり一つ必要だと思います。

それと、あと、こうしてほしいというのは、やっぱり詳しく知りたいとか、そういうふうなのが多かった、そういうのも結構あったと思いますので、やはり言われたようにテーマごとにやるっていうのも今後考えていったらいいのかなと私も思いました。

○伊藤委員長 ありがとうございます。

矢田貝委員。

○矢田貝委員 済みません、今、お二人のお話を聞きながら、全くそのとおりに思います。が、しかし、この議会報告会のスタートのときの立ち位置に立ち返らなければいけないっていうのも、それぞれの次にどういうふうに引き継ごうかという御意見のもとに、おっしゃらなかったけど、あると思います。メンバーの選出の仕方であるとか、これにうたわれている持ち方であるとか、報告会というものを今まで意見交換会としてこなかったところも含めて、どこでもう一度話し合っていくのだろうといったときに、毎年1回やっていくのだという開催ありきではなくて、もう一回立ちどまっていくっていうスタートの、今だからこそできるかな、2年目終わったところですけど、できるのかなと思ったら、今、私たちが言うことを次に引き継いだときにしっかりもんでいただけるのかっていうことを信じて意見を言うっていうふうに思えば、私も全く言われるとおりで、対象は地域ごとに4つに分けるっていうことではなくて、高校生に向かってであるとか、各種専門に動いてらっしゃる方に呼びかけるというふうなことで、テーマによって報告ってなったときに、そこが意見交換会になるんだろうというふうに思いますので、そこら辺をまずは整理していくっていうことは置いていて、そのことは置いていて、私も対象を考えたりということが大事かなというふうに思いますけど。やらないっていうことには戻れないと思うんです、やるって踏み出したわけですから。じゃあ、どうしていくのかっていったところに次の年の人たちには改善点を整理していくということかなって思います。

○伊藤委員長 議会報告会の要綱のときに、そもそものところから立ち返って、どういうあり方がいいのかというようなことも検証しつつ、話し合っていたらいいということも引き継いでいきたいと思います。副議長はこの次もですので、ぜひお願いしたいと思います。

○岩崎委員 はい、聞いておきます。

○伊藤委員長 ほかにございますでしょうか。

奥岩委員。

**○奥岩委員** 結果を見させていただくと、反省点がかなり多くて、広報といいますか、議会報告会に向けて広報した結果、アンケート結果を見ると、結局よかったんですが、自治会回覧が一番数的にはよかったのかなというところで、反省点としては、議会だよりから来られた方のほうがやっぱり自治会回覧より少なくなってしまったというのは、議会だよりがどこまで読み込まれているのかというところで、我々も反省するところがあったのではないかなと思いますので、広報広聴委員会ですので、議会だよりと報告会とはやっぱりセットでまだまだ改善の余地があるんだろうなとは思いました。

先ほど稲田委員がおっしゃった年齢のところもあるんですけど、ちょっと前回のデータを見てみますと、前は20代、30代、40代が、それでも1人、2人とか、全体ですけど、来てくださってたんですが、今回ゼロで、10代、来ておられるんですが、これ数を見ると、先ほどの報告にあったとおりの、高専の生徒さんがほぼほぼ授業の一環でというところに来ておられますので、それがなければゼロだったのかなというところもありますし、そういった年代の方々には実際問題届いてないのかな、届いていても、行ってみようかなと思えるような内容ではなかったのかなとも思いますので、内容も同じなんですけど。あと、土日と平日の夜の開催っていうのもしてみたんですけど、そういったところ、働く方々のことを考えて、会社帰りでも来やすいようにっていうのもあったんですが、そのところが今回、見事に反省点になってしまったっていうところですので、先ほど矢田貝委員も、ほかの委員さんも皆さんおっしゃっておられましたけれども、中身のところですか、内容のところですか、少しルール決めのところとか、根本に立ち返って、次の委員さんに委ねてしまうのは申しわけないんですけど、そこを精査していただけるとありがたいなとは考えます。以上、本当率直な感想といいますか、反省です。

**○伊藤委員長** 確かに若い世代、40代までの世代が自治会回覧だとか議会だより、米子市の広報もなかなか見るという機会は少ないだろうなというふうに思いますので、広報、中海だとか、あと市役所内のテロップにも載せていただきましたけれども、そこら辺のところでもどのぐらい伝わったのかなと私も思いますし、奥岩委員がおっしゃったようにチラシの内容で、やっぱりぴんとくるっていうことがなかなか難しかったんだろうなというふうに反省しております。ほかにございますでしょうか。

今城委員。

**○今城委員** 少しだけ。皆さんおっしゃっていたことなどは、同意見なところもあるしというところで、開催時期のことがあったかなというのは、ちょっと気持ちの中であって、4月っていうのは、自治会のいろんな役員改選などで、自治会そのものが物すごく会合とかがあってるんですよ、皆さんも御存じのとおり。そういう中でもそこに、会場とか日程とかの関係があったりとかして、そこを目がけてやってきましたよね、1年に1回開催せんといけんという、そういう大前提を私たちがくくったわけですから。そこでやってきたために、日程的なことをすると、そこでっていうふうにやってはみたものの、実際、受け取る側というか、受ける側的にはそういうものがいっぱいあるっていう中で、またこれかっているような意見もあったり、そういうふうな感じを受けることを言われながら帰られて、忙しかったけども、それでもと思って来たわっていう感じのこともあったりしましたし。なので、時期的なことをもう一回、6月改選であるっていう議会の形式上、ちょっと

いろんな規制というか、いろんなことがあるなというのは本当に思いながらなんですけど、この自治会とかの改選とかの時期っていうのについてのことをもう一回検討しないといけなかったかなというのはちょっと思いました。こちら側はいろんな思いでやってきたんですけども思いました、一つはそれでした。

もう一つは、前回と比べてどうかかわからないんですけど、私なんか中央ですので、今回ふれあいの里だったんですけども、同じふれあいの里に参加する自治会は変わらないけども、来ておられるメンバーというか、人の顔が全く違つとるなっていうのをちょっと感じて、というのは、前は市役所でやったので、この近辺の方は結構たくさん来ておられたんですけど、啓成とか車尾とかのあの辺あたりとかっていう人はあんまりどうだったのかなと思ったんですけど、今回、啓成の、ふれあいの里近辺の方が多かった感じがしたんですよ。お聞きしたら、そこら辺の自治会の何々の町内の何々をやってますって発言のときに言われてたんです。ということで、もしかして、その開催する会場の近辺の人が、自分ところであるけん来るわっていう感じだけでもしなってるとしたら、ちょっとその辺の、広報の仕方なのか、それとも会場の持ち方なのか、それとも、何かよくわからないんですけど、そこら辺がどうだったのかっていうところがちょっと気になったなっていうふうに思いました。いつも議会に来られていて、いろんな形で提言とか、いろんなことを話してくださる方が、前は市役所だったのに来ておられたんですけど、今回は来ておられなくて、何でだったのかなって思ったときに、何か自分のところの近くの自治会じゃないっていうような、そういうようなニュアンスがあったりとかしたので、何かそういうことがあったのかなとか、ちょっとその辺、全くわからない、イメージだけのところで話をしてるんですけど、もしそういうような形で参加の全市的な形にならないとすると、どうかなっていうのをもうちょっと検討したりしないといけないのかなっていうふうには思いました。

もう一つ。済みません、長くて。もう一つは、意見としてなんですけれども、先ほど来のいろんな御意見もある中で、参加してくださった方の感想だとか、アンケートだとか、意見だとかっていうのはずっとあるわけなんですけど、我々が一喜一憂するっていうことが本当にいいのかなっていうふうに思いました。質問とかされた方の背景だとかいろんな思いだとかっていうこともあるということを受けとめつつも、だからその話とか、その内容とかに特化したものにせんといけんとか、地域性がそうなので、そういうことをテーマにせんといけんかみたいなのうにしていくと、これは議会報告会なので、そういうことにはいかないだろうなっていうふうに、だから一喜一憂せず、我々が本当にきちんと皆さんにお伝えすべきことを、きちんとした形で精査をして伝えるっていうことをやった上で、それで限界があるっていうことだったら、違うものにもうしないといけないというか、報告会という形ではない、違うものにしないといけないということを、一つベースにというか考えた上で、持った上で、今後、それを次回の皆さんに送っていくのって大変申しわけない思いがいっぱいなんですけれども、なのかなっていうのは、これは個人的な意見として感じました。とてもよいと言われる意見もあれば、その次の方はとても悪いと言われる意見もあり、そのことを一喜一憂してどう考えればいいかっていうようなことをするよりは、我々が何を伝えるのかっていうことをやっぱり根本としてのベースとして考えていった上で、そこに限界があるのなら、じゃあ、どうするっていうところなのかなっていうふうに個人的には思いました。以上です。

**○伊藤委員長** 今城委員の御意見に対して、皆さん、いかがでしょうか。最後に言われた一喜一憂というようなところで、前回の一番初めにした議会報告会の後、意見交換の時間がとても少なかったという意見がとても多かったので、意見交換の時間をかなり多くしたいというようなことで臨みましたけれども、でも結局は半々ぐらいの時間設定になり、それで今回のアンケートでは、時間のことは皆さん、よかったんじゃないかというような意見が多かったことを考えると、今城委員がおっしゃったような、一人の意見や、そのときたまたま多かった意見に何か左右されるのもどうなのかなと私も思ったところでした。伝えていくことをしっかりと共有して、それを全議員も共有をして、こういうふうなことで挑んでいるんだというようなことを、臨んでるんだというようなことをもうちょっと共通認識が図れたらよかったなと思いました。議会報告会の中で、どういうふうなテーマの設定なんですかというような意見がちょっと多々あったなと思いますので、そこら辺のところでもうちょっと共有するべきだったなと、これを伝えるんだというふうなことをもっと共有できたらよかったんじゃないかなというふうに思ったところでした。

あと、会場設定のことについて、皆さん、いかがでしょうか。そもそものところを、また一から考え直すというようなところで、また次の委員会に引き継いで考えていただければと思いますけれども、私もこの4ブロックの中の、たまたまその会場となった公民館の役員の方が一生懸命、声をかけてくださるときは多かったり、またお誘い合わせていただいたりしたときが多かったりっていうようなこともあるかなと思ったり、たとえ隣の公民館であっても、なかなかちょっとハードルが高くて行きにくいというようなこともあるのかなと、そういうことはちょっと思った次第です。今城委員の意見もそのとおりだと思います。

開催時期についても、どの班でしたっけ、彦名公民館で行ったときに、公民館に何度か班長さんが行ってくださったんですけど、ちょうど本当に自治会長や公民館長がかわるんだというようなところでなかなか難しい場面があったというふうに聞いておりますので、そこら辺のところ、開催時期についても反省しているところです。

ほかにございませんでしょうか。なければ、協議というところまではいきませんが、皆さんからいただいた御意見を引き継いでいきたいと思えます。

次にですが、米子高専の学生との意見交換会、メールでいただいております。米子高専の加藤教授が提案しておられますが、そのことについて御意見があればお願いしたいと思えますが、いかがでしょうか。

以前、2018年、平成30年の2月じゃないかと思うんですけども、意見交換会、米子高専のほうに出向いて、米子市議会議員の有志の方、行きたい方というふうなことで募って、多分8名か9名ぐらいが行かれたんじゃないかと思えますけれども、1回行きまして、若い方々、学生さんの率直な意見を伺って、いろいろ貴重な御意見をいただいたなというふうに記憶しておりますが、広報広聴委員会ですので前向きに検討してはどうかと思っておりますが、この場で決めるのか、また新委員会になってから決めていただくのかということも含めて、御意見をいただければと思っておりますが、いかがでしょうか。

稲田委員、いかがでしょうか。参加していただきっただけなんですけど。

**○稲田委員** 呼ばれたら行きますよ、個人の意見ね。委員会としてとなると、かた苦しく言ってしまう改選した後についてということになりますけれども、加藤教授には、これをい

ただいたら意思だけでもお伝えするのが一つの礼儀かなと思いますが、手続的に言ってしまうと、委員長もしづらいのかなと思って。広報広聴委員会として行きますなのか、例えば今の期の広報広聴委員会の委員には伝えましたと、有志でも行きたいという意味は持っておりますと。あとは、その有志と連絡をとるか、ないしはその有志とともに、また6月からの広報広聴委員会に働きかけて、改めて返事をしますと。どちらかでしょうか。

**○伊藤委員長** 皆様方はいかがでしょう。

今城委員。

**○今城委員** 前回もちょっと、議長にお話があって、全議員に一応わっとお知らせいただいた上で、日程等を見てもらった上で、希望があればっていうような形にたしかしていただいたと。私、希望はあったんですけど、日程がとれなかったっていうのでちょっと残念な思いをしたりしたんですけども、とりあえず伊藤委員長宛てにっていうことで来ている以上は、この今のところで、参加するかしないかっていうことと、日程だけは調整をするほうがいいのか、この今のうちに。ていっても、限られた日にちではあるんですけど。

次回の委員会に送るっていうよりも、ここでさせてもらいたいっていうような意見になれば、それと日程調整させてもらった上で、全議員にお知らせをした上で、御希望で参加させていただくという前回のパターンでもいいのかもしれないっていうような気持ちです、個人的には。

**○伊藤委員長** ほかの皆さんはいかがでしょう。今、今城委員のお話を伺いながら、広報広聴委員会ですので、若い方、学生との意見交換会ということで、前向きに検討していきたいなとは思っておりますが。前回も行かせていただきました。今、今城委員の意見を聞いて思ったんですけども、皆さんお忙しいでしょうし、広報広聴委員会で前向きに進めていくというふうなところをもって、全議員に、この3案あります、7月18日、7月25日、8月1日のその中で、意見交換会を開催する予定ですのでいい日を丸をさせていただきませんかというふうなところで、多いところをとって返事をするというふうなこともできるのかなと思いますが、いかがでしょうか。それとも、この日って決めたほうがいいでしょうか。

矢田貝委員。

**○矢田貝委員** 今の委員長の話で、もう日にちを決めて進むっていうことだったら、そうだろうと思います。が、済みません、いつも「が」とか「しかし」とか言って、広報広聴委員会の要綱を見る中で、第2条の(4)に当たるところで言ってらっしゃるんですかっていうところです。じゃあ、今後、4地域で議会報告会としてやってきた部分と、この高専とのやりとりっていうものが継続していくってなったときには、その議会報告会との位置づけとか、前議長がしっかり議会報告会を持っていきたいというところでスタートするところと意見交換会というところは、分けてやっぱり考えていくべきというふうに感じるんですね。皆さんが開かれた議会のために何ができるのかって考え、いいなって思うところに進もうとされるのにブレーキかけるわけじゃないんですけど、きちっとしとかんといけんことがあるんじゃないかっていうふうに思っています。

高専の先生からしたら、議会はいつでも市民に向かって開いていらっしゃるわけですから、日程さえ合えば、誰がどういった形で来ようと生徒さんや先生にとってはいいんだと思うんですけど、常にそういうものであれば、もっと前向きに、高専さんだけじゃないと

ころで議会報告会をどうしていくのみたいなどころなのか、本当に交換会なのかって分けたら、意見交換会ってなったときには広報広聴委員会なのかなっていう気もしなくはないんですね。広報広聴に関することってというのは、意見を交換するっていうことってなったら、1年交代のそれぞれの委員会から出てっていう、これのメンバーの委員長が窓口でやりとりすることなのかしらっていう気がするし。していいのかっていうか、できるものなのか。済みません、私がかさがさってなるのは何かそこなんです。広報広聴委員会って何みたいなどころがありまして、済みません。

**○伊藤委員長** 今城委員。

**○今城委員** 私、これを見たときに、別に議会報告会をしてほしいっていう意味ではなく、学生の率直な意見との交換というような、議会としてっていうとか、広報広聴としてっていうふうなことを先生は望んでおられるのではないんじゃないかなっていうふうな気持ちもあります。通年議会で云々ということがあるので、そのようなことをテーマにしてもいいのかなというのは向かう側の意見なのであって、テーマをどうするかということについてもちょっと、今後ですが。なので、本当いうと、広報広聴委員会としてここで決める云々っていうことよりも、議長がどうされるかっていうことじゃないかな、本当のことという。この構成の扱いに関しては。

**○伊藤委員長** 今回は、私、加藤先生とそんなに随分話してはないんですけども、前回のいきさつとしましては、街灯のことという陳情を持ってこられた際に、私、副議長させていただいてたときだったんですけども、そのときに議長いらっしゃらなくて、私が受け取りました。米子市と高専との関係も、交流関係っていうんですかね、ありますので、ぜひまた意見交換をというようなお話になりました。それで、その流れで高専のほうに出向くことになったというふうに記憶してますし、そのときはどちらかといったら主権者教育、若い方に政治への関心がないので、議会に対しても無関心でわからないというような学生がたくさんいるというような話をしていらっしゃいましたので、そちら側かなというふうに、先生のほうが求めているのはそちら側かなと。私たちは私たちで、自治会を通して若い方々の意見を聞く場ということ、なかなか声が通らないというようなところもございましたので、こういうオファーをいただいたのなら前向きに検討すべきかなというところで、前回もそのような形だったかなと記憶しております。

ここに位置づけて聞くべきだ、そしたらほかのところもどんどん聞くべきだというようなところも今後はやっていく必要があるかなというふうに思いますが、そこをどこに位置づけていうようなところではなっていないんじゃないかなと思いますが、局長、いかがでしょうか。

先灘局長。

**○先灘事務局長** これは広報広聴委員会の所管の事務ですので、広報広聴ってなりますので、これにつきましては会議規則に定めた協議の場っていうところでこの委員会は設置されてますので、所管事務だとは思いますが。ただ、対外的に何か生じれば、議長の了解を得て連絡通知を米子高専にするというところはあったと思いますが、広報広聴委員会の所管ですので、決めていただくということと、あとはこの議会報告会との関連をどうするかという部分ですけども、この議会報告会はいくまでも基本条例の中で広報広聴に関するものを意見をする場というところで議会報告会となっております。その具体的なやり方を4プロ

ックにしてやりますよというのは今決めてますけども、それ以外のやり方ができないというわけではなくて、決めていただければ、柔軟にしていればいいとは思いますが。今、決まってる4ブロックだけはこういうやり方で報告会の要綱をつくってますというところですので、この高専さんとか、去年やった分について、この枠外で一応やってはおりますので、してはいけないというところもありますし、余り要綱等にこだわらずにしていればいいとは思いますが。そのあたりは、皆さんの御意見でやろうっていうところでしたら、議長に御了解いただいて、じゃあどうぞ進めてくださいっていう形で、いろんな具体的なことはこの委員会で協議しながら決めていただければよろしいかと思うんですけど。

**○伊藤委員長** これまでは商工会議所との意見交換会だとか、いろいろ多分やってきているんじゃないかと思いますが、広報広聴委員会がないときから。なので、議員ですので、市民の意見を聞くというようなところは、この前も皆さんに御報告したところですので、そのところは基本条例に位置づけられているところかなというふうに思います。

それでは、前向きに検討するというふうなところでよろしいでしょうか。それで、次の6月の委員会のところで決める、私がさっき提案させていただいた、今から全議員に日程とともにお話をするというふうなところがいいのか、どうふうにさせていただきますか。稲田委員は、とりあえずはお返事をして、次の委員会にという御意見でしたね。

稲田委員。

**○稲田委員** 局長の意見を、柔軟にというのを解釈すれば、そこにこだわらなくてもいいなとも思いますし。どうでしょう、いわゆる無難なこと言わせてもらえば、お返事をさせていただいて、期をまたぐ都合上、次の期の委員長と相談して検討しますという言葉になって、意向としては、流れとしては、行きたい議員も数名は確実におりますので、またそのように取り計らいをしますぐらいで。

**○伊藤委員長** 次の委員会で。

**○稲田委員** 6月の、いつになりますかね、広報広聴の第1回目って。後ですよ。

**○伊藤委員長** 先灘局長。

**○先灘事務局長** 6月13日が6月定例会の開会日ですので、これで各常任委員会、議会運営委員会の委員を選任していただきますので、議運からお一人、常任委員会からはお二人で、副議長は固定という形で、正副委員長の互選のときに広報広聴委員会の委員もあわせて選出していただくというところがありますので、それ以降、その日にできるかどうかというところもあるかと思いますが、その日以降、速やかに開かせていただくというところではいかがでしょうか。当然、正副委員長も確認しないといけませんので、速やかに、あるいは直ちにかもしれませんが、していただくという場面が出ます。その場面で、こういうものが前任期の委員会から申し送りがありますので御協力いただきますというところなんです、すぐ結論が出るかというとなかなか難しいのか、もう方向性だけ決めて日程調整だけにするのかというところ。方向性だけ決めていただいてもいいとは思いますが。メンバーはわかりますけども、委員会は継続してるというところで、やる方向で、あとは日程調整は6月13日以降させていただくということもよろしいかとは思いますが、方向性だけ決めていただいたほうが。やるやらないまで次に移行するというような問題でしたらあれですけど、そのあたりは今の委員の方で決めていただければいいとは思いますが

ど。継続性を持つというところで。

**○伊藤委員長** どうでしょう、皆さん。反対の方はいらっしゃるんじゃないかなと今のところ思いますが。前向きに引き継ぎさせていただくということによろしいでしょうか。

〔「異議なし」と声あり〕

**○伊藤委員長** じゃあ、行く方向で、そこだけは確認させていただいて、6月13日、今度の新委員会以降にこの日程調整をさせていただくということによろしいでしょうか。

〔「異議なし」と声あり〕

**○伊藤委員長** あと、どうしてもこれは引き継いでいただきたいというようなことは、私のほうからは、議会だよりに関してなんですけれども、発言者である議員が一般質問の原稿作成について、この委員会では、よしそうすべきだというふうなところで進んでおりましたが、米子市議会全体のまだ理解を得られてないところでございます。これもまた進めていただくよう引き継ぎさせていただきたいと思いますが、そのことを私がお願いしたいと思っております。よろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○伊藤委員長** ほかの皆様方、ぜひこれはというようなことがございましたらお願いしたいと思っております。

矢田貝委員。

**○矢田貝委員** 1点だけ。この1年交代、それから人選の仕方、ここは見直す必要がありはしないかと感じております。

**○伊藤委員長** 例えば2年とか。

**○矢田貝委員** 2年とかですね。

**○伊藤委員長** 2年ですか、4年っていうのはちょっと長い。

**○矢田貝委員** 広報広聴委員会って特別委員会でも何でもなく、広報広聴委員会じゃないですか。そこら辺、どうなのかなっていうあたりもあります。

**○伊藤委員長** それでは、今度の新委員会で。

先灘局長。

**○先灘事務局長** 事務的な問題で、これは委員会条例に連動しておりまして、結局このメンバーが常任委員会から出すという形になりますので、自動的にかわってくる可能性がありますので、常任委員会、議運が委員会条例で1年任期になっていますので、そこから変えていきませんと、ここも自動的にならない、ここだけ2年っていうわけにはいかない流れになってるんです。事務的な話で申しわけないですけど。ですから、任期についてずっと1年で、4年間で、例えば会派内で1人必ず、3つの常任委員会がありますから、そこを順繰りするということで、以前は4常任委員会っていう、そういう考えもあったんですけど、今、もう3つの常任委員会になって、会派の人数も変わってきているところから、そういう議題が今までなかったです。任期はずっと1年だになっていうところがございますので。今後そういう、広報広聴委員会をきっかけにして任期の話もしていくということも一つの課題といいますか、きっかけにさせていただいてもいいと思うんですが、現時点では条例があるということで、常任委員会から連動してるところを変えていきませんと、変えることはできないというところがありますので、そのあたりは御了解いただきたいと思っております。

○伊藤委員長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 大変よくわかりました。済みませんでした。そこがうまく市民に開かれた議会であるためのいろんな改革をしていくために、1年でなければできないということではないっていうふうに改めて感じたところなんですけど、複数年にしたければできないことではないっていうふうに思ったんですけども、じゃあ、議会報告会、1年に1回とか、そういう、今まで1年目に一生懸命決められたことってというのは、見直す場もないというところも実はあると思っています。

○伊藤委員長 先灘局長。

○先灘事務局長 矢田貝委員のお話をやっぱり聞きますと、この広報広聴委員会の要綱で委員会構成が常任委員会ごとに出すってところが、これが議会報告会をやる際に各常任委員会から出ているということがきっかけでこういう組み立てをしたというものもありますので、条例改正、変えずに、ここの部分だけ変えていけば可能にはなることはなると思います。ですので、この委員会構成の部分、やっぱり任期を2年にするというものでしたら、常任委員会の構成を抜きにして、この広報広聴に関することをするというものでしたら、ここの部分を皆さんの合意で、議会全体になると思いますけども、していけば可能といえば可能ですね、というところがありますんで、ここの議論をどこでするかというふうになりますと、議運か各派会長なのかというところで、きっかけにして議論するのは一つの方法かとは思いますが。ここだけ変えれば、可能といえば可能です。今は連動しているということです。以上です。

○伊藤委員長 貴重な御意見だと思います。今、副議長、あと常任委員会から2名ずつと、あと議会運営委員会から1名ということになっておりまして、この委員会を始めるときも、かなりちょっと偏ったりとかして難しかったのかなと思います。これがなかなか難しいところなので、ここら辺のところの議論はやっぱりしていくべきだなというふうに思います。

稲田委員。

○稲田委員 そこまできょうは言うつもりはなかったですけど、委員の構成の話が出たもんですから、事務的な提案としては、各常任委員会の正副委員長が委員に、議運から、例えば副委員長、副議長はもう決まっていますので、その8人であれば、構成メンバーを選ぶときの何か難しさはないのだけれども、今度は会派の人数のばらつきがあるとか、あるいはそこにもかかってくるかなと思います。ただ、どうでしょう、今、1期終わりましたよね。また、同じような人ばかりになるのか、それとも多分1年交代にしているのは、いろんな人になるという意味も入ってるのであれば、果たして、次、6月にどういう人が集まるのかで、そこで一から始めるよりは、委員で委員長、副委員長決めて、なおかつ報告会とつけてるけれども、意見交換、先ほど今城委員からもあった、ある程度、型を決めていって、この型さえやっておけば大丈夫って、なかなかつくりづらいですけど、そういうものを目指していけば、今、我々がやっている議論もある程度落ちついていくんじゃないかなと思いました。以上、済みません。

○伊藤委員長 御提案もいただきましたので、これもあわせて引き継ぎたいと思っております。

皆様、よろしいでしょうか、ほかには。

〔「なし」と声あり〕

○伊藤委員長 1年間、本当に御苦勞をおかけしましたし、なかなかまとまらず、進行がうまくいかなかったかと、申しわけないと思っておりますが、皆さん方には御苦勞いただきまして、本当にいい議会報告会が、大枠はできたなと思いますし、議会だよりも一定程度のリニューアルができたなというふうに思っておりますので、感謝申し上げたいと思います、ありがとうございます。

それでは、以上で広報広聴委員会を閉会させていただきます。

**午前10時44分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

広報広聴委員長 伊 藤 ひろえ